株式会社秀和システム様向け

仕様書の基本と仕組みシステム

システム概要仕様書

第1.0版

|  |  |
| --- | --- |
| 版数 | 1.0 |
| 承認者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |
| 作成者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |

改版履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 改版概要 | 改版日 | 改版者 |
| 1.0 | 新規作成 |  | 増田智明 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc331674767)

[2. システム機能要件 2](#_Toc331674768)

[3. システム機能概要 3](#_Toc331674769)

[1.1. 共通ライブラリの利用 3](#_Toc331674770)

[1.2. ユーザーインターフェース 3](#_Toc331674771)

[1.3. データの永続化 3](#_Toc331674772)

[1.4. データのバックアップ、復旧 3](#_Toc331674773)

# はじめに

システムのまえがきを書く。

# システム機能要件

システムの機能要件を列記する。

システム概要の記述は、要件定義で定められた機能要件を満たすように行われるべきです。この文書は通常、契約時の要件定義書と併せて作成され、システム構築の際の重要な参考資料となります。システム概要は、システムの基本的な構造や機能を明確にし、これに基づいた見積もりの根拠を提供します。この過程では、プロジェクトの範囲、目標、制約などが詳細に記載され、システム構築に関わる全ての関係者が同一の理解を持つことを目指します。正確かつ詳細なシステム概要の記述は、効率的なプロジェクト実行と成功のための鍵となります。

# システム機能概要

システムの機能要件、各要件を記述する。

## 共通ライブラリの利用

## ユーザーインターフェース

## データの永続化

## データのバックアップ、復旧

システムの機能要件について、詳細な記述を行うことが重要ですが、この段階での細かな設計の詳細化は必要ではありません。主に、システムが満たすべき基本的な機能とその範囲に焦点を当てます。しかし、契約条件によっては、要件定義と設計が分離されていない場合があり、この場合、要件定義書は基本設計書として後の設計段階に引き継がれる可能性があります。このため、要件定義書は将来の設計工程を考慮し、明確かつ柔軟に記述されるべきです。このアプローチにより、システム開発の初期段階での方向性が確定し、後の設計工程へのスムーズな移行が可能になります。